十六日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘盛
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

農會と農實組合の明年度事業方針

けふ役職員協議會　横井博士の講演は十八日

石城郡農會役職員協議會並に農事實行組合協議會は十六日午前十時から元石城郡役所會議室に開き縣農會技師大垣內柳助氏等臨席し昭和二年度事業案として

▲昭和二年度本會事業の大要

一、技術員設置　二、農事講習　三、町村採種圃設置の奬勵　四、優良農具奬勵　五、病害虫驅除豫防奬勵　六、副業奬勵　七、品評會奬勵　八、表彰　九、共同作業奬勵　十、蔬菜採種圃奬勵　十一、蒟蒻病害豫防試驗　十二、農事調査　十三、購買販賣斡旋　十四、印刷物の配布　十五、町村農會役職員協議會　十六、農事實行組合協議會　十七、町村農會補助　十八、團体補助

等各項に亘つて詳細の説明をなし注意を與へ終つて左の打合せ事項の後來る四月一日全國一齊に行はる可き農會總代改選について打合せをなし散會したが、農會主催農學博士横井時敬氏の農村時事問題講演會は十七日元郡役所會議室に開く筈である。

▲打合事項

一、技術員設置に關する件
二、農事實行組合の設立並に活動に關する件
三、採種圃完成に關する件
四、自給肥料增殖に關する件
五、副業奬勵に關する件

郡青年團評議員會

石城郡聯合青年團評議員會は磐城中學校内に開き、事業奬勵資金增殖、歲入出豫算（八百四十圓）團則改正の件等を附議後唐士磐中校長を團長に推薦し縣聯合代議員に大野村馬上豐氏、同豫備員に齋藤明氏當選、午後一時から引續き郡聯合幹部會を開き各地視察團員の報告、磐中軍事教育官長島大尉の新兵器に關する講演あつて散會した。

▲霜害對策協議

石城養蠶同業組合では十五日午前十一時から永戸村役場で霜害對策實行委員會を開催したが縣蠶糸課員等多數臨席した。

▲佑賢學舍卒業生

平町舊城跡磐城佑賢學舍第十四回卒業式は十九日午前十時擧行の筈、卒業生如左。（五十音順）

▲本科　阿部歷、會田謙、淺野富四郎、赤津秀三、稻沼三良、石川直人、鵜沼政雄、鵜沼吉成、大平武行、上遠野一男、菊地友吉、木村義一、北郷安次、木村好文、久保木鐵男、坂田一利、佐藤子、佐川儀兵衛、坂本宗四郎、佐伯清、佐藤英之助、佐藤甚右衛門、鷺亮吉、坂本誠、佐藤幸男、佐久間清高、鈴木年彥、薗部喜之、高木恒義、田仲茂、田中賀、富岡藤太郎、富岡良一、中村政雄、半谷清、蛭田五郎、日渡亦義、平澤正男、松崎政夫、松本近衛、宮澤一見、馬上壽雄、矢吹幸太郎、山城淵太郎、吉田隆平、渡邊茂平、猪狩留之、植田親愛、遠藤定雄、遠藤武、小野重一、小川勝美、小宅宰、高木喜好、青木キクヨ、明智ハナ子、大榊美枝、大谷鶴代、大和田嘉代、大越アサ子、金成コウ、籠橋きみ、木內いね、栗田ハナ、草野チヨ、佐藤フミ、齋藤チヨ子、佐藤富美、坂齋たね子、新開千代子、志賀スイ、佐藤富美子、菅原カネヨ、菅波ヤエ、瀨谷ツネヨ、大樂シヅ子、千葉とき、富岡幸子、富澤ヨツ、仲野アサ、仲野スイ、西山ヨシ子、野口綾子、林イエ、蛭田ハマ、古川スミ、見代ユキ、宮口ヨシ、山田ひさ子、山崎薬子、山野邊クニ子、吉田チヨノ、吉田敦子、渡邊ハル、柴田ツユ（以上男五十四名、女四十一名）

▲普通科　會川千里、荒川敏夫、猪狩一、猪狩喜一、遠藤勇、小野一郎、片寄誠司、國井輝雄、小菅孝雄、小松榮、齋藤延由、齋藤清、坂本充文、坂本進、佐藤峰義、佐藤東伍、志賀金平、志賀忠興志、志賀久、志賀三郎、志賀忠一、柴野正、鈴木秀太郎、鈴木松雄、鈴木巳喜夫、鈴木直衛、須田稔、中田政雄、長瀨博文、仲野茂男、新妻六平、新妻安德、西山威、羽賀辰郎、羽賀貞四、矢口充、吉野德四郎（以上三十七名）

磐女校を巣立つ三人の優等生

卒業式は二十二日

磐城高等女學校卒業式は二十二日擧行の筈であるが當日巣立つ百四十二名の中、異彩を放つ三人の卒業生がある。

◇…平町材木町長瀨しのぶ（二〇）さんは理科、數學を始め各學科何れも拔群の好績、平均点九十五点とは驚く程である、下級生の面倒を見たり進んで皆の嫌がる便所掃除をしたり全く感心な娘さんださうだ。四ケ年皆勤、兩親がないため女子二部を志望したが身長が不足で不合格となつたなど前途の惠まれぬのは氣の毒ですと先生達が語つてゐる。

◇…平町鍛冶町中野朝子（十九）さんは磐越銀行頭取中野甲藏氏の令孃で音樂の天才、器樂が得意で將來はこの方面に進む志望を持つてゐるといふ。

◇…植田町からの通學者阿部きみ（十九）さんは家計余り豐かでないのに四ケ年間無缺席、今回も見事に女師二部試驗に合格したが、阿部きみ子さんは家の商賣である「そばや」の出前持ちをして苦學した感心な娘だとして卒業式の日表彰する筈である。

出獄したその夜から強盜を働らく

四倉町徘徊中を捕はる

十五日午後四時頃四倉町新町で擧動不審の男を四倉署平間巡査が發見誰何したのに件の男は矢庭に雨をついて逃走したので追跡格鬪して取押へ四倉署で取調べた處同人は永戸村大字上永井字永野澤熊谷政愼（二四）と言ひ窃盜罪で平刑務所に懲役一年を服役し去る十一日午前八時頃刑を終はて平刑務所を出でたが出獄の同日午後八時頃平町南町某方に忍び入り二重廻、お召給、帽子から下駄まで身のまはり一切價格八十圓を強奪逃走し四倉方面に逃れ四倉驛前小泉屋旅館に東京市貴金屬商と稱して投宿身を隱してゐたが十五日散步に行くと稱して外出した處を平間巡査に捕へられたもので、出獄後四日で又々刑務所入りをするわけである。

▲小松局長出發

平郵便局長から酒田局長に榮轉した小松良滋氏は十六日午前八時五十五分常磐線下り列車で赴任したが官民多數の見送りで賑はつた。

平產看校　卒業式ご落成式

平町南町平產婆看護婦學校第二十回卒業式は十八日午後二時新築校舍落成式を兼ねて擧行する筈。卒業生左の如し（いろは順）

▲產婆科　內郷村荻野谷イセ、平窪村太田ミサヲ、平町小島スヘ、四倉町大橋ミツ、平町吉野トリ、神谷村吉田キン、平町江名町高津トク、植田町高木ミツ、赤井村高木ツナヨ、石川郡泉村高原クニ、豐間村永山ヤスヨ、錦村山野邊マス、山田村國井トモ、泉村山崎ヤイコ、多賀郡關南村菊地タケ、赤井村關きく、內郷村吉田マサ子、小名濱町鈴木フク、平町上田キク（以上二十名）

▲看護婦科　平町生田目シク、北海道長谷川留代、多賀郡磯原町濱井おさ、夏井村坂本春代、石川郡泉村高原クニ、平町吉野とり、江名町關きく、植田町高木シツ、內郷村吉田まさ子、多賀郡關南村菊地たけ、內郷村武宮千代子、泉村吉田タケ、平町小笹ハル、內郷村內野トキ、平町金森一子、永戸村草野加女代、玉川村西丸モリヨ、豐間村永山ヤスヨ、內郷村吉田もくり、赤井村高木ツナヨ、平窪村永島テツヨ、泉村山崎ヤイ子、江名町坂本千代、同高イトク、夏井村渡邊シメ、錦村山野邊マス、双葉郡廣野村根本海野、平町海川きくの、平町矢野シメ、豐間村山野邊マツ、富岡町志賀タイ、平町酒井キヨ、小名濱町鈴木フク、相馬郡高平村鈴木ヨシノ（以上三十五名）

藤田校の童謡踊ご話の會

―プログラム

藤田女學校同窓會主催童謡踊りと話の會は十九日午後六時、廿日午後一時の二回平劇場に催す筈で無踊監督は若柳吉三郎若柳吉美津夫妻、プログラム如左

▲開會の辭　藤田榮助　▲校歌齋唱　藤田校生徒一同　▲校歌の意味に就て　櫻井賢文　▲花まつり　若柳社中　▲晴天雨　大同　▲た嘶し　川崎小鳥　▲あの山影　若柳社中　▲俵はごろ〳〵　同　▲日ぐれ　若柳社中　▲聞い明と　▲お月さん　同　▲講話　久留島武彥　▲昔ばなし　若柳社中

私の觀た炭礦爭議批判（四）

佐藤稔

▼爭議の深刻化

交涉決裂と同時に爭議團は陣容を立て直した、現在日本に礦山勞働運動家として知られてゐる加藤勘十、高梨三男、闘家博君等が乘り込んで、勝たねばならないと腰を落ちつけてしまつたので、一度チラツと現はれた解決の眞の曙光は消え失せて、前途は眞つ暗となり何時迄續いて何んな結果になるやく豫想もつかない狀態となつてしまつた。取締りの警察官は三百名近くになつて、藏重警察部長が自身爭議地に出張して取締りを指揮した。會社では建國會や磐炭會員を指揮督勵して根強く守りかためた。爭議團は各所へ演說會を開き、宣傳隊も軍隊的の編成を始め、應援の闘士が足尾、秋田、尾去澤、神戸、尼ケ崎等から續々と入り込んで來た。磐城炭礦の全山は斯くして危險な暗雲が低迷し、山雨正にいたらんとして風樓に滿ちた樣な有樣とはなつたのである。

▼大事件の頻發

各所に小競合が始まつた、之れは當然な結果である、攻守兩派が弓に矢をつがひて對陣してゐるのであるから、小競合が演じられる事は當然すぎる程當然であつた、然し此の小競合の取締りについて嚴正公平なる所の警察官に不公平な事實があると喧傳され、東京自由法曹團からは三輪、松谷、秋田、中村の四辯護士が事實調查ノ爲め來山し、開會中の帝國議會では某代議士が取締りの不公平との事實について質問をなし、それと前後して爭議團員の磐炭會襲擊事件、建國會員の暴行事件、磐炭會員の投石事件等々が頻繁として起り多數の刑事被告人を出すに至り、遂に此の爭議は磐城の一角の問題としてゞ無く、福島縣に於ける問題となり、更らに中央に於ける問題となつてしまつた。何等爭議と關係を持たないものまでが事態を按ずるに至つたのである。

平模擬市會議員
＝投票締切日迫る

大方の人氣を博してゐる平模擬市會議員の投票締切期日は愈々迫る、左記各項により續々御投票あれ。

一、投票締切　三月三十一日
一、當選發表　四月一日本紙夕刊
一、議員數　十七名とす（會場其他の都合により、或は本社が依囑する事あるべし）
一、市長　は都合に
一、市會議長　は議員の互選とす
（尚は當選豫想者にして議員たるを不承諾の各位はその旨豫め御一報願上候）

磐城時報社

昭和第一春の流行品
春のメリヤス
……在庫品豊富
良品廉賣の買ひ良い店
メリヤス 山家店
平町一丁目（電話六〇五番）

眼。鼻。舌の喜ぶ
一の井の洋食
ナトリウムエン カリウムエン 味は特に注意してゐる

投票用紙
「模擬平市會議員」

模擬市會議員得票

一四八二票　齋藤英三郎氏
一二五三票　高橋亀松氏

一二四七票	小松茂氏
一二三〇票	山崎清三氏
一二一九票	井上貞次郎氏
一一三六票	吉村安次郎氏
一〇七七票	吉田寅之輔氏
九七九票	萩原義雄氏
九一一票	白井一郎氏
八九九票	柴田德二氏
八八二票	千葉彦治氏
八八〇票	鈴木昌雄氏
八六六票	草野順平氏
七六九票	酒井清氏
七五六票	櫻井清氏
七四七票	馬目雅治氏
六九八票	瀧澤俊平氏
六九六票	阿部政右衛門氏
六八九票	猪狩庄平氏
六八五票	鷹崎正見氏
六八二票	高倉精一氏
六八〇票	諸橋守次氏
六七九票	佐藤武之氏
六七三票	大森勇氏
六三二票	眞木桓氏
六三二票	山野邊東次郎氏
五六二票	諸橋正次氏
四五一票	三森虎雄氏
三八〇票	山崎德次郎氏
三〇八票	渡邊源吉氏
二八六票	綠川喜三郎氏
二七二票	三井文吉氏
一八二票	熊謙次郎氏
一八〇票	關内正一氏
一八〇票	中野康平氏
一八〇票	須田甚太郎氏
一二〇票	蓮沼龍輔氏
八十九票	鈴木武雄氏
八十八票	馬目武之助氏
八十八票	保坂龜八郎氏
八十三票	鈴木邦三郎氏
六十八票	横山顯氏
六十八票	木田藤次郎氏
六十五票	諸橋元三郎氏
六十二票	山田盤磨氏
四十五票	海老原章四郎氏
三十六票	多田井笑次郎氏
三十五票	關内喜久次郎氏
三十五票	源精一氏
三十五票	杉本榮一氏
三十四票	吉田喜代治氏
二十九票	坂本隆藏氏
二十五票	田卷榮一氏

◎（以下略）

生徒募集

募集人員
高等女學部　五十名
師範部　五十名
技藝部高等科　百名
同　速成科　五十名

入學資格
師範部並ニ技藝部、速成科ハ高等小學卒業以上ノ學力アルモノ
高等女學部並ニ技藝部、高等科ハ尋常小學卒業以上ノ學力アルモノ
高等科卒業者ハ選考ノ上高等女學部二年ニ入學ヲ許ス

願書提出　三月三十一日限り

私立 平陽實科女學校

品と値の競爭なら…絶對負けぬ
回靴値下げ斷行……市價の二割安
弊店新案ゴロフ形…流行
磐城の平、田町
製靴部 運動具部
大塚支店
電話七〇二番

◈良品廉賣に勝る商略なし!!!
◈確實敏捷は㊅の生命なり!!!
和洋銅鐵 金物問屋
磐城セメント會社特約店
㊅ 釜屋商店
磐城平 電話一九番 一三九番

鐵筋コンクリート
住宅、商店、事務所
設計監督請負
平町田町
丸山喜一郎
電話六二番

私立 志賀裁縫傳習所 生徒募集
一般和服裁縫教授…普通科、速成科、研究科
ミシン裁縫教授
作法折紙及ビ水引掛方教授…全數廿八種
手藝〔盛繪手藝…クレープ手藝〕〔レース編物…其他種々〕
右何レモ短期ニテ習得セシム詳細規則書進呈
◎申込期日　三月卅一日マデ
◎授業開始　四月七日ヨリ
◎申込所　福島縣平町字紺屋町一三
志賀運動着販賣部
電話六四七番

婦人病血の道の妙薬
美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
滋養強壯第一
スッポン飴
大阪東區谷町一丁目 本舖 檜尾長命堂
定價壹圓・貳圓・徳用五圓
代理店 山野邊藥局
平町五丁目角

金牌受領
印牛天專門
優秀品の證明
草野染工場
磐城平町
電話三四八番

荊妻千代儀病氣中の處十二日午後八時十五分死去致候間此段謹告仕り候

追而葬儀は來る十七日午後一時自宅出棺光明寺に於て佛式に依り相營み申候

昭和二年三月十三日

男　高岡唯一郎
　　　　文夫
親戚總代　酒井國三郎
　　　　山崎與三郎
友人　白井博之
總代　安島重三郎